

科目名	作品研究1							年度	2025
英語科目名	Arts research 1							学期	前期
学科・学年	ミュージックアーティスト科 1年次	必／選	必	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員	青野りえ	教員の実務経験		有	実務経験の職種		ミュージシャン、グラフィックデザイナー		
【科目の目的】 様々なアートジャンルから1つを選び、そのアートについて学び、考察力を身につける。作品や物事について自分なりの考えや批評の視点を養い、発言力を高める。アートの知識を自身の作品やパフォーマンスに応用し、技術向上を目指す。音楽、美術、映像、デザインなど様々なジャンルのアートに対する幅広い知識を得て、そのセンスを表現活動に生かし、平面作品の鑑賞や制作に応用できるポイントを学ぶ。									
【科目の概要】 音楽・美術・映像・デザインなどの幅広いジャンルのアートについての知識を身につけて、自分なりの考えを持って、センスを磨いて、そのセンスを自分の表現活動に生かしていくのが目標です。平面作品を鑑賞する際に見るべきポイントを学ぶことで、より作品への興味や理解が深まり、また自らのオリジナル作品に使用するジャケットやアーティスト写真、動画のサムネイルなど、制作に役立てることが出来ます									
【到達目標】 A. 音楽・美術・写真・デザインの中から1種類のアートについて学び、考察力を習得する。 B. 作品や物事について自ら考え、批評する視点を身につける。 C. 1種類のアートについて発言力を習得する。 D. アートの知識を自分の作品やパフォーマンスに生かすことで技術を向上させる。									
【授業の注意点】 専門学校は、社会人としての行動・あり方を学ぶ「職業訓練」の場であるという考え方から、他の授業・実習と同様、出席状況については厳しく評価する。また、授業中の態度（居眠り、私語など）にも厳しく対応する。卒業後の自分自身の生きる力を得るものであり、自分自身のこととして主体的な考え方をもち、積極的な姿勢で授業に参加してほしい。なお、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック評価	レベル3 優れている			レベル2 ふつう				レベル1 要努力	
到達目標A	音楽・美術・写真・デザインの中から1種類のアートについて学び、考察力を習得する			音楽に関する考察力を習得する				到達目標Aについてさらなる努力が必要	
到達目標B	作品や物事について自ら考え、批評する視点を身につける			作品や物事について自ら考える視点を身につける				到達目標Bについてさらなる努力が必要	
到達目標C	1種類のアートについて発言力を習得する			1種類のアートについて感想を述べることができる				到達目標Cについてさらなる努力が必要	
【教科書】 なし。参考資料等は、授業中に指示する。									
【参考資料】 特になし									
【成績の評価方法・評価基準】 評価基準はルーブリック評価に基づき、試験課題40%(知識及び技能のほかに思考・判断・表現を評価する)、授業内発表30%(知識及び技能のほかに思考・判断・表現を評価する)、平常点30%(主体的に学習に取り組む態度を評価する)									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

